

「都構想」・カジノより
VTC・福祉・防災対策を

大阪自治労連は、4月7日
投票の大阪府知事・市長選
挙を「憲法と地方自治法に反
する独裁政治に終止符を打
つ」「自治体労働者の働きが
いを向上させる展望がひら
く」「職員・労働組合への権
利侵害をストップさせる」な
どの意義を確認し、「明るい
民主大阪府政をつくる会（明
るい会）」「大阪市をよくす
る会」に結集し奮闘しました。
残念な結果となりました
が、引き続き、「維新政治ノ



昨年9月26日に行われた、府議会開会
日の府庁包囲ランチャイムパレード

住民の生活を最優先する 働きがいある自治体をつくろう

「大阪都構想」・大阪
市つぶしを許すな！ カジノ
より暮らし・福祉・防災の世
論を広げ、幅広い府民の共同
の力で大阪の未来を切り開く
ために全力をあげる」立場を
堅持し、引き続き奮闘するも
のです。

住民本位の自治体づくり
へ引き続きたたかいは
強化しよう

維新政治による労働組合と
の合意のない賃金カット強
行、組合事務所問題での交渉
拒否や不当労働行為は継続さ
れ、住民福祉の削減や「都構
想」推進、カジノ推進の政治
が強められるも、引き続き
奮闘が求められています。

4月14日告示・21日投票票
で泉佐野市・高石市・吹田市
・八尾市などの市長選挙が行
われます。

大阪自治労連は、誰もが安
心してくらせる地域社会、災
害に強いまちづくりなどの実
現と、みんなが誇りを持って
働き続けることができる地方
自治体をつくるため総力をあ
げます。
力をあわせてたたかひ抜
き、今後につないでいきまし
よう。

3月5日の学習会には、約40
人が参加しました。はじめに、
大阪自治労連の荒田委員長は、
2011年の東日本大震災を契
機に「防災まちづくり研究会」
を設置しPARTⅢまでとりく
んできた経緯を説明し、「昨年
の大災害で多くの課題が示され
たも、研究会を再開してい
きたい」と表明しました。

豪雨災害と自治体、 防災・減災を考える

防災まちづくり研究会PARTⅣ 「防災問題を考える学習会」開催

防災と環境改善は 市民の視点から考え議論を

「豪雨災害と自治体 防災・減
災を考える」のポイントを、大阪
自治体問題研究所副理事長の藤
永のぶよさんが報告しました。
第1章は極端現象と地球温暖
化との関連の慎重な分析、地質



市民のライフラインを
どう守るのかを明快な語り口で説く
1600円+税（自治体研究社）

・地形の特徴からの豪雨災害の
分析、第2章は現場の報告、第
3章は減災まちづくりと自治体
の役割、自治体とコミュニティ
の共同と補完、避難所・避難生
活の現状と課題など、豪雨災害
に焦点をあてた防災本で、市民
のライフラインをいかに守るか
を明快に説いています。

会場からは、避難所である学
校が危険でポロポロな東大阪の
実態、遅れている地域医療にお
ける大阪府の保健所や自治体病
院に対する支援体制、強化すべ
き防災体制と逆行する国や府の

社会科学的な政策づくりを

職員削減等の状況、地域の自治
会の防災活動などについて発言
されました。
まためで大阪自治体問題研究
所の中山理事長は「まちづくり
を市民の視点で考えれば防災と
環境改善を一致させて議論でき
る。社会科学的政策議論を体
系的実践的にすすめる、政策的展
望を示せるようにしていきたい」と
述べ、様々な立場からの研究
会への参加を呼びかけました。

府内各地で加入すすむ

職場の仲間が 組合を語る

新採職員と若手 職員が和気あい あい語りあう

交野市職労



新歓パーティの記念撮影。たくさん
写真を撮り、組合事務所で見られる
ようにしています

4月2日に組合説明会を
実施し、その後、歓迎パ
ーティを行いました。新入職
員と若手を中心とした組合
員、総勢50人をこえる参加
でした。乾杯の後、新入職
員のテーブルに入れ替わり
で様々な職場の組合員が座
り、これからの職員生活に
ついてアドバイスやブラ
イトな話など、和気あい
あいと楽しみました。
さっそく組合加入があ
り、9日午後から職場配属
されます。引き続き職場で
加入をよびかけます。

「労働組合が大切」の語りかけに その場で組合加入が

大阪府職労

4月1日の知事部局・病
院労組の組合説明会をかわ
きりに、各支部で取り組み
をすすめています。
国際がんセンターでは、

若返った支部執行部が中心
になり、紹介パワーポイン
トを作成。青年部副部長が
「労働組合が大切」と感じ
たストーリーを語りまし



4月1日の病院労組の「先輩との交流会」

た。対話の時間を設け、先
輩職員が机をまわり、その
場での加入につながりまし
た。
青年部副部長は「同じ病
棟の新採職員が加入してめ
ちゃくちゃうれい。もつ
と広げたい」と笑顔で語っ
ていました。

新採アンケート をもとに 全員加入めざす

高石市職労



青年役員が手作りのパネルで説明

4月2日の組合説明会に
新採職員10人全員が参加し
ました。お昼にも新採職員
と先輩組合員とで昼食会を
行い、保健師の組合員から
「子育てしながら働き続け
るには、自分の権利もきち
んと確保することが大切。
そのためにも労働組合が大
事です」など加入をよびか
け、説明会での加入につな
がりました。短時間だった
ため、新採アンケートをも
とに、労金や共済など説明
会や歓迎会を開催し全員加
入をめざします。

5.3

輝け憲法！ 平和と いのちと 人権を！

おおさか総がかり集会

5月3日(金) 憲法記念日
扇町公園

13:30 開会
15:00 市民パレード

今月のキーワード

ランドセル

4月、小学校に入学した子どもたちが、赤や黒だけでなくカラフルでピカピカのランドセルを背負って街中を行き来しています。ランドセルは小学校入学の象徴であり、初めて背負うとき子どもはよるこび、そのために祖父母や親は「ラン活」に精を出し、平均購入価格は4万円台。一方で、沖縄県は昨年7月、県内の未就学児の生活環境などについての調査を発表。5歳児がいる世帯の約2割が「ランドセルを買えない」と答えたとしています。入学準備金への公的支援や民間支援などが取り組まれているが、充分ではありません。どの子にもピカピカの未来を渡すため、政治を変えるチャンスは今、私たち大人ががんばる時です。

今月のキーワード

8時間ソング
~Eight Hours

5月1日は労働者の祭典「メーデー」です。「8時間ソング」は、1886年5月1日、アメリカの労働組合が8時間労働制を要求してストライキ・デモ行進を行った際に歌われたもので、この行動がメーデーの起源です。当時12~14時間労働があたり前で「8時間は労働、8時間は休息、残りの8時間は自分たちの好きなことのために」との主張は、長時間労働の問題がある現在でも切実な要求です。♪Eight Hours for Work, Eight Hours for Rest, Eight Hours for What We Will!!! (日本語訳) 世直しの時それは今/人間らしく暮らしたい/さあ集まれ歩こうよ/働くのは8時間/休むのが8時間/あとは自由な8時間!